



令和8年3月24日発行
第204号(令和7年度第2号)
北海道伊達高等養護学校

ウェルビーイング～幸せを感じる

校長 吉野隆宏

3月6日の卒業式に43期生43名が卒業しました。3年間の学校生活で、一人一人それぞれが、社会人になる準備をできたのではないかと考えています。

伊達高等養護学校の学校教育目標は「自ら学ぶ力を高め 豊かな心とたくましい体を育み 目標に向かって働く力を身に付け 新しい時代の社会に貢献する生徒を育てる」です。

3年間で自分を高めることは、自立に向けて大切なことですが、なんでも一人でできるようになるわけではないので、周囲の人、支援してくれる人、同僚など様々な人間関係の中で、「お願いします」「手伝ってください」と伝え、お互いに助け合うことが自立には必要になると考えます。

本校の生徒と卒業生は、作業学習や体力づくりで働く体力と習慣を身に付けてきたので、社会で活躍し、社会に貢献する準備もできていることを期待しています。自分のためだけでなく、大切な誰かのために、みなさんの力を必要としている人のために、働き、生活し、社会に貢献してほしいと考えます。みなさんが、力を発揮して働き、生活する姿は、社会を明るく幸せな状態にするきっかけになります。

社会を明るく幸せな状態に関して、ウェルビーイング(Well-being)という概念が注目されています。身体的・精神的・社会的に良い状態(幸福・健康)にあることだそうです。

WHO(世界保健機関)の定義は「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」とされています。

身体的な良好さ: 心身の健康、病気がない、身体的機能の維持。

精神的な良好さ: 幸福感、生きがい、満足感、前向きな感情。

社会的な良好さ: 人間関係、人との繋がり、社会貢献。

みなさんは、幸福・健康で良好な状態ですか？ みなさんが、幸福・健康で良好な状態です。働き、生活していることを心から願っています。幸福度を高めるために4つの要素があるそうです。

幸福度を高める4つの因子(武蔵野大学の前野隆可教授による)

職場や日常生活で実践できる、持続的な幸せにつながる4つの要素。

- 1 やってみよう(自己実現・成長): 目標ややりがいをもつ。
- 2 ありがとう(繋がり・感謝): 他者との関係性や感謝の意識。
- 3 なんとかなる(前向き・楽観): ポジティブな心理状態。
- 4 ありのままに(独立・自分らしさ): 他人と比較せず、自分らしくいること。

「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「ありのままに」働き、生活することで、ウェルビーイング～幸せを感じる人生になるように、高校生活3年間、そして将来社会人としての生活を充実してほしいと願っています。

第43回卒業証書授与式

3月6日（金）に、全校生徒、保護者の方々が見守る中、卒業証書授与式を行うことができました。卒業生の皆さんは、3年間共に歩んできた仲間と共に、あたたかい雰囲気の中で卒業証書を受け取っていました。



れいわ ねんとどうしょ ぎょうじよてい
 <令和8年度当初の行事予定 >

4月8日(水) 着任式・第1学期始業式

9日(木) 入学式(第1学年 ホームルーム・学年懇談会)

10日(金) PTA三役会(令和7年度分)

14日(火) 全学年 証明写真撮影

17日(金) 第3学年 学年・個別懇談会

23日(木) 新入生歓迎会

24日(金) PTA総会、教育振興会総会

5月7日(木)、8日(金) 休業日

けんしんよてい ほけんしつ
 <健診予定(保健室から) >

4月13日(月)	身体測定(全学年)	5月12日(火)	胸部X線検査(第1学年)①
4月13日(月)	聴力検査(第1・3学年)	5月15日(水)	尿検査②(第2学年)
4月13日(月)	色覚検査(第1学年の希望者)	5月26日(火)	尿検査③(第1学年)
4月21日(火)	尿検査①(第3学年)	5月26日(火)	胸部X線検査(第1学年)②
4月21日(火)	心電図検査(第1学年)	6月9日(火)	尿検査④(予備日)
4月27日(月)	内科検診(全学年)	日程調整中	眼科検診(全学年)
4月30日(木)	耳鼻科検診	日程調整中	歯科検診(全学年)

この1年間を振り返ると、身長などの目に見える変化以上に、生活リズムを整えようとする姿や、気持ちを落ち着かせながら日々を過ごす力など、目に見えにくい部分に生徒たちの成長を多く感じられました。そうした姿の背景には、保護者の方々の温かな言葉掛けや見守りがあったからこそだと感じております。1年間、生徒一人一人の心身の健康を支えていただき、心から感謝申し上げます。今後も保健室は、心身の調子がよい時もそうでない時も、生徒が安心して過ごせる場所であり続けたいと考えております。1年間ありがとうございました。